

人口減少時代の社会インフラプロジェクト

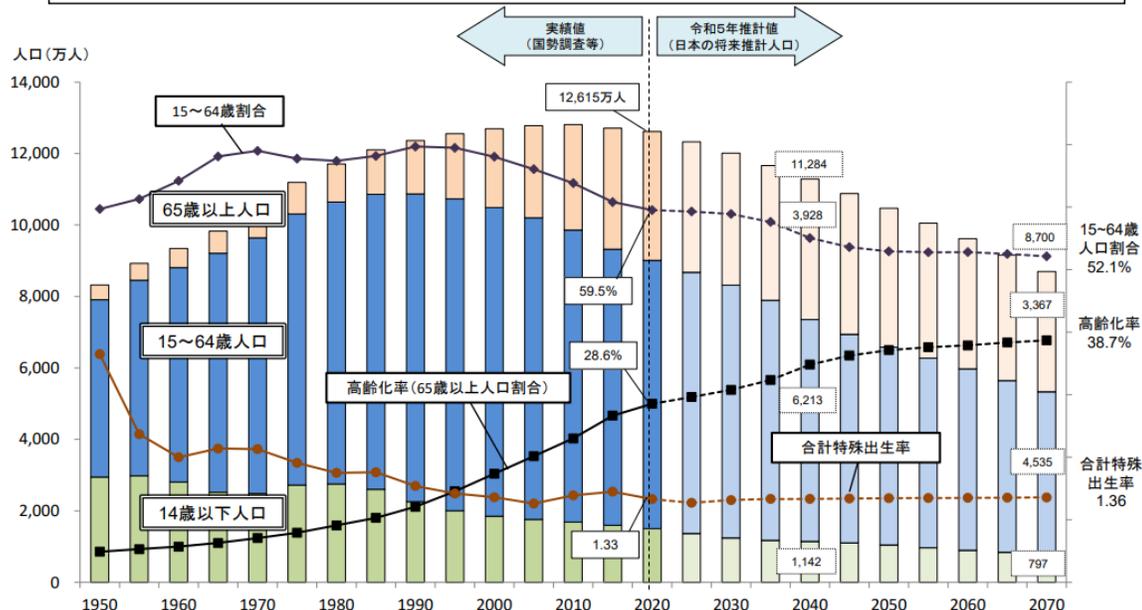
2024/10/23

XGモバイル推進フォーラム

日本の人口は既に減少局面に入っており、これまでのように社会インフラを拡充し続けることが困難に。
デジタル田園都市国家構想では人口減少時代に対応するためにデジタルの力を活用。

日本の人口の推移

○ 日本の人口は近年減少局面を迎えている。2070年には総人口が9,000万人を割り込み、高齢化率は39%の水準になると推計されている。



(出所) 2020年までの人口は総務省「国勢調査」、合計特殊出生率は厚生労働省「人口動態統計」、2025年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(令和5年推計)」「出生中位(死亡中位)推計」

構想を支えるハード・ソフトのデジタル基盤整備



構想の実現に向けて、ハード・ソフトの両面から、デジタル基盤整備を進めます。

<https://www.mhlw.go.jp/content/12601000/001093650.pdf>

<https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/digitaldenen/about/digital-foundation.html>

本プロジェクトでは、人口減少社会において、Well-beingを犠牲にしない持続可能なインフラの在り方を明らかにする。

- ✓ 中長期的には持続可能なインフラ実現のための制度整備や業界構造変革を目指す。
- ✓ 短期的には検討スコープの明確化、専門家の巻きこみ、第一次の提言を目指す。

共同リーダー体制で推進中



マルチメディア振興センター
(FMMC)
飯塚 留美



NTTドコモ
永田 聡



KDDI
畑川 養幸

第一次提言の骨子案を作成済み。今後諸外国の動向調査や我が国のインフラの現状や課題分析を進めていく。

1. はじめに
2. 我が国の人口動態と諸外国との比較
3. 我が国のインフラの現状と課題
 - 我が国のインフラの現状
 - 検討対象とするインフラの範囲（全体として何があってどこを対象とするか）
 - インフラの検討フレーム
 - 検討フレームの各要素ごとの課題
4. 人口減少時代のインフラの在り方
 - 諸外国の状況
 - 通信が通信以外のインフラに貢献できるポイント
 - 我が国でとるべき方策（産学官連携の在り方など）
5. 今後の進め方

